

# おおくら

★市民センターだより★

平成26年3月1日発行

第 29 号

大倉地域市民センター

Tel/ FAX 0237-55-2417

## もしものために！救急救命講習

2月22日(土)に、大倉地域元気な街づくり協議会 防災安全部会(奥山真一部会長)における本年度最後の事業となる救急救命講習会が、大倉地域市民センターを会場に行なわれました。

この事業は、大倉地域における緊急時の救命方法をより多くの方に学んでもらうため、平成25年度より街づくり協議会独自の講習会として実施しているもので、普通救命講習会(3時間 修了証交付)と補完のための救命講習会(90分)を隔年で行うこととなっています。

今年度は、90分の救命講習が行なわれ、防災安全部会員のほか、地域の防災を担っている消防団員の方々も参加し、消防署の担当から心肺蘇生やAED(自動体外除細動器)の実技の指導を受け、手順の再確認を行いました。

来年度は、部会員の構成も替わることから、普通救命講習を行う予定で、今後も地域の多くの方が救命方法を学べるように実施して行く予定です。

AEDは市民センター玄関外(冬期間は玄関内)に設置されています。地域の皆さんもAEDの設置場所をご確認いただき、もしものために救急救命講習を受けてみてはいかがでしょうか。



### 29号掲載記事

1面

■もしものために！

救急救命講習

街づくり協議会防災安全部会

2面・3面

■まちづくり計画報告⑥

(最終回)

4面

◇地域の話題

■大倉地域見守り

支援座談会

◇お知らせ

■市長と語り

「ふれあいトーク」に大倉

街づくり協議会で

臨時託児を開設

■雑がみ回収

■薄皮桜もちづくり

大倉わんわんランド

■市民センター・体育館  
の使用方法が変わります

# 美しい郷「おおくら」をめざして

市民センターだより28号につづき、大倉地域まちづくり計画改訂版について報告します。(最終回)

この計画はどのように評価するのでしょうか

## おわりに

時間経過とともに生活環境も変化するため、この計画の実現性も変化することが予想されます。

この計画の評価は、毎年の実施事業ごとに評価するとともに、2ヶ年ごとを目標に計画の進捗状況を見ながら評価・修正を行います。また、計画の最終年には評価を基に、計画の継続・廃止・追加を判断し、ひきつづき継続した計画となるよう大倉地域のまちづくり指標を作成して行きます。



行川地区 八幡神社



大倉堤と桜



背灸り峠からの中沢棚田

以下は計画書に添付している資料を紹介しています。

## 資料編

### 地域の人口経過

大倉地域の人口については、昭和58年に一、八九〇人であったが、金谷地区の分譲等を背景に、平成4年には二、〇三三人にまで増加をたどった。その後減少に転じ、平成25年には一、五〇四人まで減少している。

世帯数については、昭和58年に四一四世帯であったが、昭和63年以降四五〇世帯以上を保ち、平成15年には四七六世帯のピークを迎え、平成25年現在も四四八世帯とほぼ同水準を保っている。

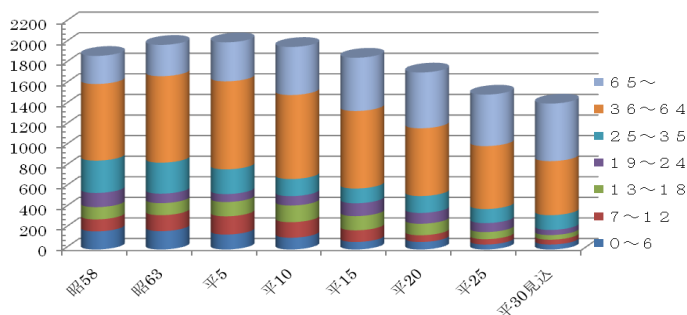
人口構成については、

昭和58年に19歳未満21・9%、19歳～64歳63・6%、65歳以上14・5%であったが、平成25年には19歳未満11・2%、19歳～64歳55・5%、65歳以上33・2%となり、少子高齢化が顕著である。特に35歳以下の人口割合の減少は大きく、各年代とも30年前に比べ、約50%～70%と大きく減少している。




人口の推移

(単位：人)

年齢帯	昭和58	昭和63	平成5	平成10	平成15	平成20	平成25	平成30(見込)
65歳以上	273	304	379	467	517	542	500	559
36～64歳	744	840	855	816	753	658	611	525
25～35歳	314	301	240	166	143	164	137	143
19～24歳	138	92	77	91	125	105	87	50
13～18歳	119	117	139	162	138	112	69	45
7～12歳	116	155	177	151	113	65	52	47
0～6歳	176	178	145	114	73	73	48	48
合計	1,880	1,987	2,012	1,967	1,862	1,719	1,504	1,417



# 計画書改訂版報告③ (最終回)

名称	由来	大倉ふる里カルタ
八幡神社	行川地区東部の神社。「勝負平」にも関係するが、安倍一族を討伐してきた源頼義が必勝祈願した神社といわれている。	
レンガ場跡	明治35年、鉄道建設が盛んになり、トンネルなどに使われたレンガを造る工場があり隆盛を極めた。	
背炙り峠	この峠は、尾花沢の銀山温泉が隆盛を極めた頃の主街道である。名前の由来は、往きも復るも日向で汗だくなる峠であったと云われている。	

名称	由来	大倉ふる里カルタ
甌岳	大倉地域の東にそびえる標高1015.5メートルの山で、東北百名山にも選ばれている。その山容は米などを蒸す器「甌」に似ていることから、その名が付いたと云われている。古くは御山として山岳信仰として三等が祀られ、多くの参拝者があったと云われている。	
大倉堤(大倉溜池)	大倉堤は、市内最大の溜池であり、古く天正年間に築堤されたのが始まりで、大倉・西郷・楠岡地区の農業用水として使用されている。大昔は度々堤防決壊を繰り返し、人柱「おくら」の話しも伝えられている。絶滅危惧種植物「田字草」の生育地でもある。	
櫛山館(大倉館)	行川の南方大倉堤の南東にあたる小高い山頂にあり、富並の鬼兜城があった時代に、連絡を取るために建てられた城の址。現在は遺階跡の跡が残っている。	
居合神社	日本一社の神社であり、居合流を現世に広めた林崎基重信公を祀った神社。	
勝負平	行川地区東南の小高い山腰に位置し、昔、東北地方に勢力を持っていた安倍一族を源頼義が討伐した際に戦場となった場所だったと云われている。	
阿弥陀堂	中沢地区中央部の通称「堂の前」と呼ばれている阿弥陀堂。この神仏は昔、甌岳の山岳信仰が栄えた頃、甌岳にあったとされている。	
中沢不動尊	中沢地区東部に位置し「大石大聖不動明王」を祀っている。村山市の文化財にも指定されているが、開創の時期は明らかでない。水清く杉の老木立ち並ぶ境内は厳かな雰囲気漂わせている。	
薬師堂	新山地区東方、山裾の林の中に薬師堂がある。中沢の阿弥陀堂として甌岳の山岳信仰が栄えた頃、甌岳の中腹にあったと伝えられている。	
豆入り観音	正確には「奴意輪観音」と呼ばれている。「豆入り観音」というのは、お参りをした時、護符としてもらえるのがいり豆に砂糖をまぶした「砂糖豆」だったからと伝えられている。	

史跡・地域資源一覽



甌岳冠雪の風景



林崎 日本一社居神社



行川 晩秋の林堤寺境内

- 平成25年
- 7月27日 第1回見直し委員会(各作業部会 第1回部会)
  - 8月7日 第2回地域活用発信作業部会
  - 8月18日 第2回地域防災安全作業部会
  - 8月23日 理事会へ見直し状況経過報告
  - 9月5日 第2回地域景観環境作業部会
  - 9月7日 第2回地域福祉作業部会
  - 9月20日 第3回地域活用発信作業部会
  - 10月3日 第4回地域活用発信作業部会
  - 10月5日 第3回地域福祉作業部会
  - 10月9日 理事会へ見直し状況経過報告
  - 10月8日 第3回地域防災安全作業部会
  - 10月17日 第3回地域景観環境作業部会
  - 11月20日 理事会へ見直し状況経過報告
- 平成26年
- 1月16日 理事会において見直し計画(案)について最終確認
  - 1月28日 第2回見直し委員会(全体会報告会、計画案承認)

## 大倉地域まちづくり計画見直し委員会(略称)

- 委員長 鈴木忠彦  
副委員長 齋藤勝男
- 地域活用発信関係作業部会  
部会長 高橋正四  
部会員 鳥村進、鈴木敬悦、五十嵐美香
- 地域福祉関係作業部会  
部会長 鈴木達夫  
部会員 齋藤隆、櫻井和子、鈴木拓弥
- 地域防災安全関係作業部会  
部会長 奥山真一  
部会員 鈴木光雄、高橋健夫、早坂英樹、安達健治
- 地域景観環境関係作業部会  
部会長 西山真一  
部会員 奥山七郎、遠藤正人、平山龍一
- 副委員長 齋藤一雄  
副部会長 鈴木忠彦、高橋正四、高橋直樹  
副部会長 鈴木勇夫、淀川晃、鈴木進、金子一志  
副部会長 齋藤一雄、工藤芳美、野口勝、高橋直樹  
副部会長 齋藤勝男、土田一天、田豊幸二、齋藤浩二  
副部会長 齋藤一雄、石川真二、平山久夫  
副部会長 齋藤美智男、渡辺博子、齋藤吉子、齋藤光幸  
副部会長 齋藤勝男、平山正三、齋藤徳士、鈴木健治  
副部会長 佐藤通、渡辺勝義、竹村享、齋藤ケイ子  
副部会長 齋藤豊、菅原彦彦、齋藤里美

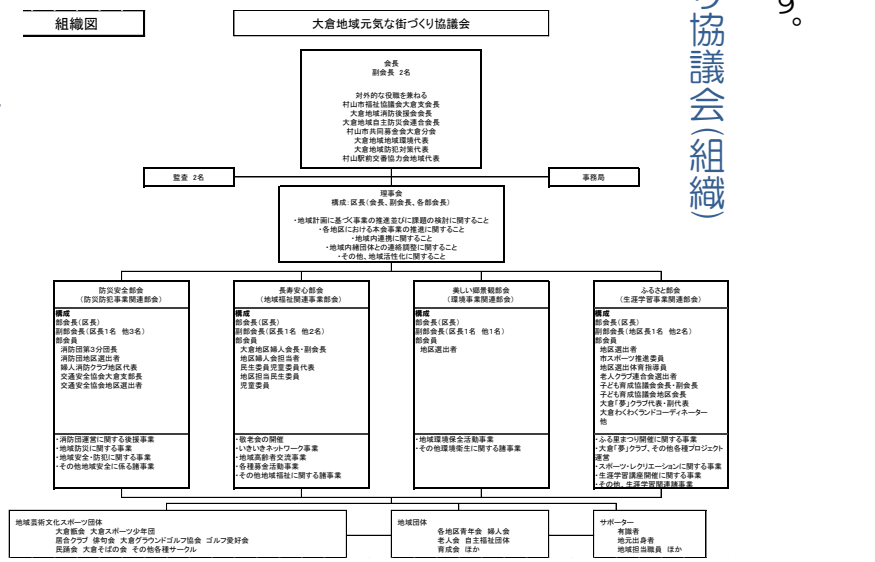
## 大倉地域まちづくり計画見直しの経過

大倉地域マップ  
平成26年春に製作予定です。

大倉地域元気な街づくり協議会(組織)

大倉地域の街づくり協議会は、大倉地域の多くの誇りうる資源を地域が主体的になつて活用し、より大倉らしい「元気な街づくり事業」を展開し、地域の活性化、安全安心に資することを目的とし、平成16年3月に組織されました。

平成24年度より4つの部会に組織を変更し、現在に至っています。



# 地域の話題



## 大倉地域見守り支援の座談会が行なわれました。



2月10日に、大倉地域の各地区役員や民生委員児童委員、いきいきネットワーク推進員、並びに地域で事業を行っている方達が集まり、地域の高齢者の方々の見守りについて座談会を行いました。

この座談会は、村山市社会福祉協議会が主催したもので、地域の高齢化が進むなかで、各家庭でも核家族が多くなり、地域の中での関わり合いも希薄になりつつあります。そのようななか、高齢者に関する事故等も増えています。

大倉地域においても、一人暮らしや二人暮らし高齢者、日中高齢者だけの世帯に關わる事故が増えており、先日もあわやの出来事が発生しています。

これらの事態には、周囲の方々のいち早い異変の察知が必要で、地域の関わり合いを大切にして、「もしかしたら〜」と気にかけてはいかががでしょうか。

こんなときには、「もしかしたら〜」と思って声をかけてください。

- 最近あまり顔を見なくなつた
- 新聞や郵便物が溜まっている
- 夜になつても電気がついていない
- または昼間でも電気がつきっぱなし
- 積雪に足跡がない など

## お知らせ

### 市長と語らう

### 「ふれあいトーク」in大倉

市長が大倉地域を訪問し、大倉地域の話題について語り合います。

大倉地域の皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 3月13日(木) 午後6時30分  
会場 大倉地域市民センター 2階

### 臨時託児を開設

大倉地域元気な街づくり協議会では、若いお父さん・お母さんも参加しやすいように「ふれあいトーク」の間、市民センター1階で保育資格ボランティアによる託児を行います。

※事故の無いように気を配りますが、責任を負うものではないことをご了承ください。

また、若干のお菓子なども出ますので、食物アレルギーがある場合にはお申し出ください。

### ゴミ減量化・リサイクルに

### ご協力ください

### 3月2日 雑がみ回収



資源リサイクルのため、雑がみ回収が行われます。

【回収対象の雑がみは、新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック等の紙パック以外のリサイクルできる紙です。例えば、空き箱・包装紙・パンフレット・封筒・プリント等です。

紙袋や大きめの封筒に入れて、朝8時までに燃やせるゴミのステーションに出してください。

## 昔なつかしい 「薄皮桜もち」づくり 大倉わくわくランド

大倉わくわくランドでは、子ども達の春休みにあわせ、お菓子作り体験を行います。小学生・新1年生の皆さん、ぜひご参加ください。(事前申し込みが必要です。市民センターへ8日まで)

日時 3月21日(金) 午前9時30分

会場 大倉地域市民センター

参加費 1人150円  
(当日集金)



## 市民センター・体育館の 使用方法が変わります

これまで鈴木博輝さん宅で貸出し管理をしていたきましたが、夜間利用及び休館時利用の市民センターのカギ及び旧大倉小学校体育館のカギの貸出しが、4月1日から市民センターに変更になります。

使用の際には、事前に届け出が必要となりますので、詳しくは大倉地域市民センターまでお問い合わせください。

「おおくら 市民センターだより」には、各種お知らせなど、いろいろな情報を掲載します。地域の皆さまが載せたい情報をお待ちしています。

取材等も伺いますので、お気軽にお問い合わせください。